

2月2日：大型株の上昇で反発

VN 指数は木曜日に上昇、銘柄数では3分の2の銘柄が下落していたが、大型株の上昇によって指数は反発した。

ホーチミン取引所のVN 指数は0.15%高の1,077.59ポイントで取引を終えた。水曜日には3%以上下落をしていた。

騰落別では小型株を中心として3分の2の銘柄が下落した。多くのセクターが下落する中、小売り、銀行は上昇していた。

ベトストックによると、18セクターが下落し、水産加工、農業、運輸、機械、建設といったセクターが大きな下落となっていた。

大型株はまちまちの動き、ベトコムバンク (VCB)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ビンググループ (VIC)、マサングループ (MSN)、ビンコムリテール (VRE) といった銘柄が上昇し相場を牽引した。

警戒感が高まったことにより、流動性は低下した。出来高は6.35億株で売買代金にして11.1兆ドンだった。前日比で37%ほど下落した。

下落トレンドが残っており、指数は1,050-1,060ポイントの下値を試すだろうとロンベト証券のアナリストは語った。

しかし、同氏はこのエリアでは下げが止まり、反発の動きに戻ると予想している。

現時点では、調整した銘柄を待って買いを入れることはできるが、直近で上昇している銘柄の高値追いは避けるべきだとアドバイスした。

ハノイ取引所のHNX 指数は0.32%安の215.32ポイントで取引を終えた。

出来高は8,400万株で、売買代金にして1.2兆ドンだった。国内投資家の動きに反して、外国人投資家は買い越しを続けている。両市場合わせて4,740億ドンを買越しした。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。